

# おいしい米づくり情報



## 第6号

庄内総合支庁 農業技術普及課  
Tel. 0235-64-2103

生育調査圃の6月11日の生育は、はえぬきは、草丈・葉令は平年並み、茎数はやや多く、つや姫は草丈が短いものの、茎数は平年より多く、葉令は平年並みで、ともに生育は順調です。

気温が高い日が続いたため、生育は順調で分けつも増えてきていますが、土壌アンモニア態窒素量は、平年に比べ多く残っています。生育が過剰にならないように注意しましょう。引き続き、浅水管理を基本とし、昼間止水・夜間灌漑により分けつの発生を促進するとともに、目標茎数が確保された圃場から速やかに作溝・中干しに入り、生育を調節しましょう。

梅雨入りし、不安定な天候が続くことが予想されます。低温や強風の日には深水管理を行い、稲体を保護しましょう。

### ●生育の状況(6月11日現在)

表1 生育診断圃の生育(はえぬき、鶴岡市矢馳)

年次	アンモニア態窒素(mg/100g)	6/11の生育			
		草丈(cm)	茎数(本/m <sup>2</sup> )	葉数(枚)	葉色(SPAD)
本年	9.4 (+3.2)	29.5 (104)	393 (115)	6.9 (+0.2)	38.6 (+1.6)
前年	5.4	28.6	315	6.9	37.6
平年	6.2	28.4	341	6.7	37.0

表2 つや姫展示圃の生育(鶴岡市上清水)

年次	アンモニア態窒素(mg/100g)	6/11の生育			
		草丈(cm)	茎数(本/m <sup>2</sup> )	葉数(枚)	葉色(SPAD)
本年	7.6 (+2.0)	26.9 (87)	303 (132)	6.6 (-0.2)	37.4 (+1.8)
前年	4.0	30.9	143	5.8	36.4
平年	5.6	31.0	229	6.8	35.6

※( )内は平年比

### ●葉の傷みと土壌の還元(ワキ)について

稲の葉色が淡く、下葉が傷んでいる圃場が見受けられます。葉色が淡い原因としては、低温や強風による葉の傷み、異常還元による障害が考えられます。葉が傷んでいる圃場では、新葉の展開を促すため、“浅水管理”を行い、“昼間は水を止め”、“灌漑は朝方か夕方”に行うようにしましょう。

ワキの進んでいる圃場では、根の活力が低下し、伸長も阻害されます。また、養分の吸収も阻害されてしまいます。そのままにしておくと生育が遅延し、生育不良になってしまいます。圃場のワキの程度に応じ、“水交換”、“夜間落水”、“2~3日程度の田干し”等の対応を行いましょう。



熱中症予防強化月間

～ ゆとりを持って作業をしましょう ～